

H 保安体制

H01 テロ・ハイジャック対応

- H01-1 テロによる攻撃・ハイジャック・爆発物・NBCテロに関する防止対策、および空港とその周辺の警備対策と検査は、国の責任で行うこと。
- H01-2 航空輸送に対するサイバーテロ対策を行うこと
 - H01-2-1 航空を対象としたガイドライン、規定を策定し、特化した対策が必要である
 - H01-2-2 空域ごとに対応策を作り、訓練を行うことが必要である
- H01-3 航空機へのレーザー（ポインター）使用に関する法制化による対策を行うこと
- H01-4 航空機へのMANPADS対策を行うこと
- H01-5 テロ・ハイジャック対策は、機長の判断および乗客・乗員の人命尊重、飛行の安全確保を最優先して策定すること
- H01-6 テロ対策について、現場の説明と意見聴取を図る機会と体制を作るとともに、航空関係者（管制、空港、消防・救急、各航空会社社員等）の総合訓練を定期的に各空港で行うこと
- H01-7 制限区域での作業従事者に関する身元確認の義務化について法制化を行うこと
- H01-8 東京オリンピックに伴う保安対策は、現場の参加、周知徹底を図ること

H02 空港における保安対策

- H02-1 制限区域、クリーンエリアおよび航空機に立ち入る人、物に対して徹底した保安検査を行うこと
- H02-2 乗務員、空港職員の保安検査の効率化を図る配慮を実施すること。そのために空港のレイアウトも考慮すること

H03 危険物輸送への対策

- H03-1 航空貨物の安全性の確保を行うこと
- H03-2 危険品輸送に関する啓蒙活動、危険物の紛失・盗難防止策を行うこと

H04 航空機内の保安対策

H04-1 ICAO基準で構築された安全優先の保安対策を取れる体制を作ること

H04-2 航空関係者（乗務員・旅客担当者・整備士・機内作業員・Security担当者等）の訓練を定期的に各TYPEの航空機内で行うこと

保安事項に関するため、詳細は割愛します